

地質モデル(第四系基底・当別層(西野層)基底・地震基盤面の等深線図)のグリッドデータ

- これらのグリッドデータは、反射法地震探査測点、微動観測点、既存ボーリング点などのコントロール点おける各地層境界深度データに基づいて作成した等深線図のデータである。
- グリッドは、調査地域を含む東西30km、南北38kmの矩形領域を東西、南北500m間隔に区切っている。
矩形領域北西角のUTM座標 : 516000, 4790000
矩形領域南東角のUTM座標 : 546000, 4752000
- 各シートとも
 - 1列目 UTM座標(Easting, 単位:m) = x座標
 - 2列目 UTM座標(Northing, 単位:m) = y座標
 - 3列目 各地層境界面の標高(単位:m)
- グリッドデータの信頼できる範囲は、成果報告書に載せた各等深線図のコンター表示範囲を参照していただきたい。
- 地震基盤(定山溪層群)面のデータは、ブーゲー重力異常から求めた地震基盤深度をコントロール点の地震基盤深度で補正した最終的な地震基盤深度である。